

第1回 献血会議 議事録

日時：2007年9月20日（木） 場所：N市たんぼぼ文化会館 出席者：篠田、安藤、飯塚、高橋、草野、日高 次第：語ろう、私の献血はじめて物語 2007～みんな最初は怖かった～

（発言）

- 篠田> 記念すべき第1回献血会議にお集まりいただき、ありがとうございます。
今日の議題は、「はじめての献血」です。皆さん、はじめて献血した時のことを覚えていますか。
- 日高> ボクは16の時、駅前の献血ルームに行ったのが最初です。以来10年間、毎月献血に行ってます。
- 安藤> 私は20歳の時。「はたちの献血」って聞くから、20歳にならないと献血できないのかと思ってました。
- 草野> オレもそう思った。誤解生むよね、あの表現は。
- 高橋> 「16の献血」より語呂がいいからじゃない？
- 日高> だけど、何で16歳から大丈夫なんだろうね。まだ育ち盛りじゃない？
- 高橋> でも、年に何回か血を抜いた方がむしろ健康にはいいんだってよ。
- 飯塚> 怪しいなあ。献血ドナーを確保するための方便じゃないの？
- 篠田> 献血が身体にいいかどうかは不明ですが、献血の事前にする血液検査は、健康づくりの一助となりますね。
- 安藤> そうそう、血中コレステロールとか中性脂肪とか。
- 草野> でも、それをフィーチャーして献血を呼びかけると、病気の検査目的で献血する不徳の輩が増えたりして、ちょっと問題かもね。
- 高橋> ええと、テーマは「はじめての献血」だったよね。オレは免許取った時なんで、18歳。
- 草野> 試験落ちて、免許センターで血だけ抜いてきたんだっけ。
- 飯塚> 何しに行ったんだか。
- 高橋> 次の日受かったじゃないか。献血効果だよ。
- 篠田> ボクは22歳。社会人1年目に会社に来てた献血車で抜きました。体格がいいので、問答無用で400mlとられましたね。
- 高橋> ホント？オレ、400mlは負担が大きいからダメって言われるよ。だからいつも血漿だもん。
- 草野> 成分献血って、面白いよな。遠心分離機がグォングォン回っててさ。

作成者：篠田 倫秋